

岡山
くりにん

NO.67
2023.9



緑のリサイクル



タマタイ産業 株式会社



産業廃棄物から一般廃棄物まで
木くず、選定枝、草の処理なら当社にお任せください。

営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業



本 社 〒709-0935 岡山市北区神田町 2 丁目 1-25
TEL : 086-224-3291 FAX : 086-223-6354
URL <http://www.tamatai.com>

金川工場 〒709-2134 岡山市北区御津下田 450
TEL : 086-724-0115 FAX : 086-724-2694

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田 1425
TEL : 086-722-3865 FAX : 086-722-3459

<金川工場>



異物選別機

<ウッドタウン浦安> 貸倉庫



岡山市南区浦安本町 85-2 他(総敷地面積約 19,000 m²)

グループ企業

ライフオス株式会社(旧：玉野耐火礦業株式会社)

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25 TEL : 086-224-3217 FAX : 086-224-3310

- 木材事業 上月工場(兵庫県)/福山支店(広島県)/岡山チップセンター
- ガス事業 玉野営業所・工場/東岡山工場
- 総合住宅展示場 プレステージ城東

◆事業報告◆

第12回通常総会、30周年記念式典・記念講演・祝賀会 2

◆行政NEWS◆

岡山県の産業廃棄物排出状況等 7
おかやまプラスチック3R宣言事業所 登録募集中です！ 8
太陽光発電設備を廃棄処理する際の留意点について 9

◆特集◆

第3次労働災害防止計画 11
令和4年度ヒヤリ・ハット事例調査結果 14
令和5年度安全衛生研修会 20

◆支部ニュース◆

第15回岡山県産業廃棄物協会 岡山東支部地域環境クリーン化事業レポート 21

◆青年部会のページ◆

青年部会第12回通常総会 22
第17回親子エコツアー 23

◆委員会報告◆

令和5年度災害廃棄物対策委員会『オオノ開発(株)東温事業所』日帰り視察研修会レポート 24

◆趣味のコーナー◆

夏はバイク、冬はスキー、最近はダイビング
津山支部 竹藤建設株式会社 竹藤健太郎 25

◆会員紹介コーナー◆

倉敷支部 アーバンロード開発工業株式会社 27
賛助会員 株式会社重藤組 28

◆事務局だより◆

新入会員の紹介コーナー 29
令和5年度研修会開催予定／お知らせ 30
全国産業資源循環連合会 産業廃棄物処理検定 31
表紙写真ガイド／編集後記 32



*上記のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

第12回通常総会に合わせて 協会設立30周年記念式典が 盛大に開催される

令和5年5月27日(土)、岡山プラザホテルで第12回通常総会及び協会設立30周年記念式典が開催された。今年は新型コロナウイルス感染症が5類移行となり3年ぶりに行動制限のない中での開催となり、来賓や会員等120余名が参集した。

第12回通常総会 (13:30~14:45)

来賓として岡山県環境文化部循環型社会推進課の堂本課長、岡山県議会環境文化保健子ども福祉委員会の小倉委員長、岡山県警察本部生活安全全部生活安全捜査課の小野田指導官、岡山市環境局環境部産業廃棄物対策課の中田課長、倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部の大江参事のご臨席を賜りご祝辞を頂戴しました。



令和5年度協会長表彰では、功労者4名、優良事業所7社、優良従事者7名に大塚会長から表彰状と記念品が授与され、受賞者を代表して(株)新岡山工業の田口孝利様が謝辞を述べられました。

議案審議では、出席74名、委任状出席267名の合計341名の会員により、令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画案及び収支予算案が原案どおり承認されました。

【令和5年度協会長表彰 受賞者の皆様】

○功労者

岡山西支部	有限会社ダイテツ商会	新井 武雄 様
岡山中央支部	有限会社タカノリ産業	岩田 栄治 様
倉敷支部	J & T 環境株式会社 倉敷営業所	佐藤 敦 様
津山支部	株式会社新岡山工業	田口 孝利 様

○優良事業所

岡山東支部	野崎産業株式会社	様
岡山西支部	株式会社堀川建設	様
岡山中央支部	迫川清掃有限会社	様
東備支部	有限会社和気環境サービス	様
倉敷支部	株式会社ホゼン	様
倉敷南支部	N I K 環境株式会社	様
津山支部	エコシステムジャパン株式会社	様



○優良従事者

岡山西支部	有限会社岡南美研	細山 夕子 様
岡山中央支部	株式会社横山サポートテック	中川 哲也 様
東備支部	有限会社和気環境サービス	松本 宏行 様
倉敷支部	株式会社フルカワ商事	岡林 圭介 様
倉敷南支部	山本舗材株式会社	谷川 龍介 様
備北支部	株式会社平松運輸	片山 武敏 様
津山支部	株式会社廃棄物センター	福田 正文 様



30周年記念式典 (15:00~16:00)



オープニングで協会設立30年のあゆみDVDが上映され、藏本副会長が開会宣言を行い、大塚会長が「つなぐ」をテーマに記念式典を開催する旨の式辞を述べた後、来賓の岡山県環境文化部の大熊部長、岡山県議会議員の千田県議、岡山市環境局の福田次長、倉敷市環境リサイクル局の豊田局長、(公社)全国産業資源循環連合会の永井会長からご祝辞を頂きました。続いて30周年表彰式が執り行われ、大塚会長に全国産業資源循環連合会長感謝状が、また過去10年間支部活動に尽力された元支部長等11名に岡山県産業資源循環協会会長感謝状が授与され、元岡山西支部長の井上實様が謝辞を述べられました。式典のクライマックスを迎え、高谷実行委員長から30周年記念事業の紹介、今後のビジョンの発表があり、山田副会長が閉会宣言を行い閉会しました。

業の紹介、今後のビジョンの発表があり、山田副会長が閉会宣言を行い閉会しました。

【記念式典の来賓の皆様】

岡山県環境文化部 部長	大熊 重行 様
岡山県環境文化部循環型社会推進課 課長	堂本 竜也 様
同課 総括主幹	中山 智文 様
岡山県議会議員	千田 博通 様
岡山市環境局 次長	福田 広志 様
岡山市環境局環境部産業廃棄物対策課 課長	中田 智志 様
倉敷市環境リサイクル局 局長	豊田 浩二 様
同局 リサイクル推進部 参事	大江 宏 様
(公社)全国産業資源循環連合会 会長	永井 良一 様
同連合会 専務理事	室石 泰弘 様
(一社)鳥取県産業資源循環協会 会長	三輪 陽通 様
(一社)しまね産業資源循環協会 会長	尾崎 俊也 様
(一社)広島県資源循環協会 会長	三谷 哲也 様
同協会 副会長	山本 国寿 様



同協会 副会長
 (一社) 山口県産業廃棄物協会 会長
 (一社) 徳島県産業資源循環協会 会長
 (一社) 香川県産業廃棄物協会 会長
 (一社) 高知県産業廃棄物協会 会長
 (一社) 滋賀県産業資源循環協会 会長
 (公社) 大阪府産業資源循環協会 専務理事
 (一社) 兵庫県産業資源循環協会 会長
 (一社) 奈良県産業廃棄物協会 会長
 (一社) 和歌山県産業資源循環協会 副会長

大前 慶幸 様
 長田 聖士 様
 岸 史郎 様
 松本 英高 様
 近澤 栄二 様
 木下 茂 様
 龍野 浩一 様
 東浦 知哉 様
 川崎 勝也 様
 北 敏彦 様
 以上24名



【30周年記念表彰受賞者の皆様】

会長	タマタイ産業(株)	大塚 雅司 様
前岡山東支部長	内海産業(株)	松本 俊成 様
元岡山西支部長	(有)井上設備	井上 實 様
前岡山西支部長	泉建設(株)	泉 正昭 様
元東備支部長	コーワン(株)	荻野 政功 様
前東備支部長	(有)豊田建運	豊田 眞爾 様
前倉敷支部長	トラスト・クリーン(株)	室山 宣英 様
前井笠支部長	(有)藤充建設工業	藤原 浩司 様
元津山支部長	光和精鋳(株)	加納 陸也 様
元津山支部長	エコシステム千葉(株)	寺門 洋 様
前津山支部長		吉田 隆 様
事務局職員		西村麻里子 様



30周年記念講演 (16:15~17:15)

「次世代につなぐ創業者の思い」をテーマに協会員によるパネルディスカッションを行いました。コーディネーターに常任理事の三好員弘氏、パネリストに創業者の立場で初代会長の藏本忠男氏、2代会長の岡本靖磨呂氏、現会長の大塚雅司氏、2代目の立場で岡山西支部理事の片岡重治氏、津山支部理事の上杉有梨氏の5名が、裏話も含めて熱く語っていただきました。



30周年祝賀会 (17:45~20:00)

国会議員、岡山県会議員、岡山市会議員、岡山県、関係団体等35名の来賓の皆様にご臨席をいただく中、高谷実行委員長の挨拶で祝賀会がスタートしました。お忙しい中駆けつけていただいた衆議院議員の逢沢一郎先生、阿部俊子先生、橋本岳先生、山下貴司先生、参議院議員の石井正弘先生、谷合正明先生、岡山県副知事の横田有次様、岡山県議会議員の千田博通先生から丁重な祝辞を頂戴し、来賓皆様の紹介後、(公社)全国産業資源循環連合会中国地域協議会会長(山口県産業廃棄物協会会長)の長田聖士様が乾杯の発声を行い歓談に入りました。コロナ明けで120余名の参加者は思い思いに移動しながら話に弾みました。

宴半ばに差し掛かる頃、青年部会による余興が始まりました。定番のビンゴゲームに続き、箱の中身は何だろうゲームが始まると会場のムードは一気に盛り上がり笑いの渦。

エンディングは今日一日を振り返るDVDを見ながら舞台上に役員、スタッフが集まり、BGMに合わせて肩を組み歌い出しました。中締め挨拶は、実行委員会の三好副委員長がマイクを持ち、記念式典、講演会、祝賀会と30周年行事は協会員による手作りイベントとして開催したが、多くの来賓の皆様と会員の皆様のご参加ご協力を頂き、心に残る式典となった。と挨拶し、一本締めでお開きとなりました。最後に参加者全員の集合写真を取り、長い一日が無事に終了しました。

参加者の皆様、関係者の皆様、誠にお疲れさまでした。

追伸：30周年行事の様子は、来年3月発行予定の30周年記念誌で詳しくご紹介します。



【祝賀会来賓の皆様】

- | | | | |
|----------|----|----|---|
| 衆議院議員 | 逢沢 | 一郎 | 様 |
| 衆議院議員 | 阿部 | 俊子 | 様 |
| 衆議院議員 | 橋本 | 岳 | 様 |
| 衆議院議員 | 山下 | 貴司 | 様 |
| 参議院議員 | 石井 | 正弘 | 様 |
| 参議院議員 | 谷合 | 正明 | 様 |
| 岡山県 副知事 | 横田 | 有次 | 様 |
| 岡山県議会議員 | 千田 | 博通 | 様 |
| 衆議院議員 | | | |
| 加藤勝信 秘書 | 杉原 | 洋平 | 様 |
| 衆議院議員 | | | |
| 平沼正二郎 秘書 | 山下 | 満 | 様 |
| 参議院議員 | | | |
| 小野田紀美 秘書 | 狐塚 | 多重 | 様 |
| 岡山県議会議員 | 神宝 | 謙一 | 様 |
| 岡山県議会議員 | 加藤 | 浩久 | 様 |
| 岡山県議会議員 | 増川 | 英一 | 様 |
| 岡山県議会議員 | 太田 | 正孝 | 様 |
| 岡山市議会議員 | 二嶋 | 宣人 | 様 |
| 岡山市議会議員 | 長岡 | 将克 | 様 |



記念式典に参加した岡山県及び関係団体の来賓18名 以上35名



岡山県からのお知らせ

岡山県の産業廃棄物排出状況等

(令和3年度実績)

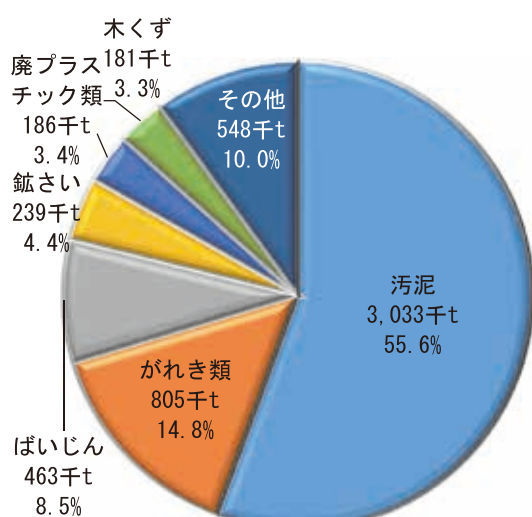
岡山県では、令和4年3月に第5次岡山県廃棄物処理計画を策定し、産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用の推進に取り組んでいますが、このたび、令和3年度に県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の調査結果が取りまとめられました。

【排出状況】

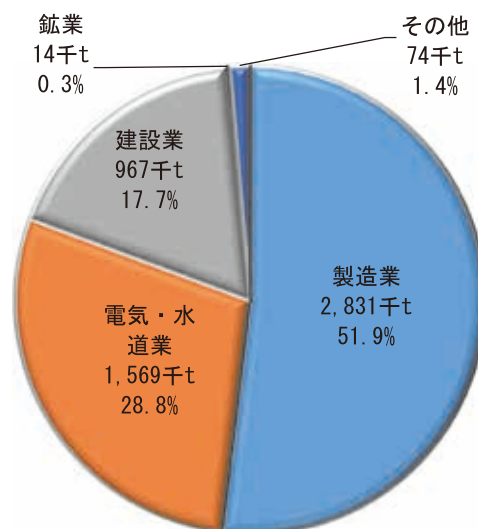
排出量は5,455千tで前年度(5,661千t)に比べて約3.6%減少しました。

種類別排出量では、汚泥が3,033千t(排出量全体の55.6%)と最も多く、次のがれき類が805千t(同14.8%)、ばいじんが463千t(同8.5%)でした。

業種別排出量では、製造業が2,831千t(同51.9%)と最も多く、次に電気・水道業が1,569千t(同28.8%)、建設業が967千t(同17.7%)でした。



種類別排出量 (単位：千 t)



業種別排出量 (単位：千 t)

【第5次岡山県廃棄物処理計画の目標との比較】

排出量は第5次岡山県廃棄物処理計画の目標を達成していますが、再生利用率及び最終処分量は目標を達成できていない状況にあります。

	令和元年度実績 (基準年)	令和3年度実績	令和7年度目標 (第5次廃棄物処理計画)
排出量	5,583千t	5,455千t	5,626千t以下
再生利用量	2,625千t (47.0%)	2,494千t (45.7%)	- (47.0%以上)
減量化量	2,683千t (48.0%)	2,665千t (48.9%)	- -
最終処分量	273千t (4.9%)	289千t (5.3%)	271千t以下 -

注：各欄記載の割合は、排出量に対する割合

第5次岡山県廃棄物処理計画の目標を達成すべく、
産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用のより一層の取組をお願いします。

岡山県からのお知らせ

おかやまプラスチック3R宣言事業所 登録募集中です！



プラスチックは便利な素材ですが、海洋プラスチックごみなど、環境に与える影響が問題となっています。令和4年4月からプラスチック資源循環法が施行され、プラスチックごみ削減に向けた、より一層の取組が求められています。

岡山県では、会社で従業員にマイボトルの使用を呼びかけたり、スーパーやコンビニなどでお客様にストローなどの使い捨てプラスチック製品の提供をやめるなど、プラスチックごみ削減に取り組むことを宣言し、実践する事業所を、おかやまプラスチック3R宣言事業所として募集しています。

今年度から、海に流出するごみを減らすため、ごみ拾いの実践を宣言内容に追加しています。

宣言事業所への特典

- 特典1**：岡山県のホームページで3R宣言事業所として紹介！
- 特典2**：宣言事業所には登録証を交付するほか、PRツールを提供！
- 特典3**：優良取組事例を県のホームページやパンフレット等で紹介！

登録証	PRツール(いずれか1つを選択)		
	 木の登録証	 間伐材のマウスパッドと ファイルのセット	 のぼり旗 ※ポールと台はありません。

※木の登録証を選択した場合、紙の登録証は交付しません。PRツールには数に限りがあります。

申込方法

岡山県のホームページから
申込用紙(Excel)をダウンロード。

必要事項を入力し、
メールに添付して送付。

✉ jcokayama@jcomm01.onmicrosoft.com

詳細はコチラ!



お問合せ・お申込先

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ岡山支社
〒700-0023 岡山市北区駅前町2-5-24 JR岡山駅第2NKビル1階
事務局
Tel. **086-223-5239** Fax. **086-233-0820**
受付/9:00~17:30(土・日・祝日、年末年始除く)
✉ jcokayama@jcomm01.onmicrosoft.com

県内企業のみなさんのご応募をお待ちしています！

解体・撤去業者及び
廃棄物処理業者の皆様へ



太陽光発電設備を廃棄処理する際の留意点について

- 使用済みの太陽光パネルは、**リサイクルによって、有用な金属やガラスを回収**することができます。

このため、解体・撤去業者及び廃棄物処理業者は、資源の有効利用の観点から、埋立処分よりも、**リサイクル**を検討する必要があります。



- 太陽光パネルには、**鉛等の有害物質が含まれている可能性**があるため、取扱いには注意が必要です。
- 廃棄処理等を行う際には、廃棄物処理法に従い適切な処理を行う必要があります。

1. ガイドラインの紹介

- 環境省では、「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」を2016年に第一版、2018年12月には第二版を公表しています。
- ガイドラインでは、**使用済太陽光発電設備の解体・撤去、リユース、収集・運搬、リサイクル、埋立処分、被災した太陽光発電設備の取扱い**をまとめています。本リーフレットでは、解体・撤去及び廃棄物処理業者に関わりの深いポイントを抜粋しています。

2. ガイドラインのポイント

① 廃棄処理時の留意事項（有害物質等の情報伝達など）

太陽光パネルメーカー、太陽光発電設備の所有者、解体・撤去事業者、廃棄物処理業者は、リサイクル及び最終処分について、それぞれの役割を果たす必要があります。

情報伝達方法

太陽電池モジュール
(太陽光パネル)
メーカー

- ✓ 「使用済太陽電池モジュールの適正処理に資する情報提供のガイドライン」（一般社団法人太陽光発電協会）に基づく有害物質情報の提供

太陽光発電設備の
所有者

- ✓ 使用済太陽電池モジュール（太陽光パネル）の処理方法等について伝達
- ✓ 有害物質に関する情報を伝達

解体・撤去業者
(排出事業者)

- ✓ **委託契約書及び産業廃棄物管理票に太陽電池モジュールであることを明記。なお、メーカー名、型式についても記載することが望ましい。**
- ✓ 適正な処理に必要な情報を提供

廃棄物処理業者
(収集運搬・
処分業者)

- ✓ 産業廃棄物管理票による情報提供
- ✓ 廃棄物データシート（WDS）も活用可能

①廃棄処理時の留意事項（続き）

- ✓ 解体・撤去業者が産業廃棄物の処理を委託する際の委託契約書や、引渡の際に交付する産業廃棄物管理票（マニフェスト）に太陽電池モジュールであることを明記する必要があります。その際、メーカー名、型式も記載することが望ましいです。
- ✓ 解体・撤去業者は、基本的に廃棄物処理法上の排出事業者に該当し、解体した太陽光パネルの処理責任を負います。
- ✓ 太陽電池モジュールの性状や取り扱う際の注意事項等、必要な情報提供手段として、廃棄物データシート（WDS）を活用することが推奨されます。
- ✓ 太陽電池モジュールは品目上基本的に「金属くず」、「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」及び「廃プラスチック類」の混合物として扱われます。
- ✓ 埋立処分をする場合は管理型最終処分場に埋め立てる必要があります。

②被災太陽光パネルの取扱い

太陽光発電設備の解体・撤去、収集・運搬時には、「感電の防止」、「破損等による怪我の防止」、「水濡れ防止」、「立入の防止」に留意してください。

感電の防止

- 太陽光パネルの受光面を下にし、受光面をブルーシート等の遮光用シートで覆うことで発電を防止。
- 太陽光パネルを触る際には、厚手の絶縁ゴム手袋等を着用。
- ケーブルの端末はビニールテープなどで絶縁。等

破損等による怪我の防止

- ガラス等により怪我をしないように保護帽、厚手のゴム手袋、保護メガネ、作業着等を着用。等

水濡れ防止

- ガラスが破損している場合、水濡れによって含有物質が流出する恐れがあるため、ブルーシート等で覆うなどの水濡れ防止策を実施。等

立入の防止

- 太陽光パネルによる感電、怪我を防ぐため、みだりに人が触れるのを防ぐための囲いを設け、貼り紙等で注意喚起。等

詳細は環境省ホームページをご確認ください。

太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第二版）

検索



<http://www.env.go.jp/press/files/jp/110488.pdf>

■ お問い合わせ先

環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室
TEL 03-3581-3351（代表）

特集 第3次労働災害防止計画

産業廃棄物処理業における労働災害は、他の業種に比べ発生の頻度が高く、危険度も高いことから、公益社団法人全国産業資源循環連合会（以下「連合会」という。）では、平成29年度から労働災害防止計画を策定し防止対策に取り組んできており、このたび令和5年度からの5年間を期間とする「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画」を策定し、令和9年に死傷災害996人、死亡災害16人を下回ることを目標に掲げました。

この目標達成に向け、当協会では、岡山県内の労働災害の発生状況、安全衛生活動のアンケート調査等を踏まえ、「一般社団法人岡山県産業資源循環協会 第3次労働災害防止計画」を作成し、その上半期（令和5年度～令和7年度）において実施すべき事項を定め、会員企業が一体となり労働災害防止対策を推進し、会員企業の安全衛生水準の底上げを図っていくこととしました。なお、本計画の下半期（令和8年度～令和9年度）については、上半期の事業点検を行った上で作成することとします。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 第3次労働災害防止計画 ～上半期計画(令和5年度～令和7年度)～

1. 計画目標

(1) 目標年次 令和9年12月

(2) 目標数値

- ・死亡者数をゼロにする。
- ・休業4日以上死傷者数を平成24年から平成26年の実績平均に比して20%以上減少させる。
(22人 → 17人以下)

(参考)岡山県内の産業廃棄物処理業に係る災害発生状況

区分	平成24～26年 実績平均(基準)	令和元年実績 (第1次計画)	令和4年実績 (第2次計画)	令和9年目標 (第3次計画)
死亡者数	0人	0人	1人	0人
休業4日以上 の死傷者数	22人	30人	25人	17人

厚生労働省岡山労働局資料より抜粋

2. 上半期における重点実施事項

- (1) 全ての会員企業において、経営者トップによる所信表明を行う。
- (2) 安全衛生規程を作成している会員企業数を増加させる。
- (3) 当業界において発生数の多い労働災害（墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒）の件数を減少させる。
- (4) ヒヤリハット事例調査を実施し、調査結果を会員にフィードバックする。

3. 上半期における活動目標

活動目標	令和4年度 (実績)	令和7年度 (中間目標)
(1) 全ての会員企業において、経営者トップによる所信表明を行う。	—	424社
(2) 安全衛生規程を作成している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	40社	48社
(3) 墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の労働災害件数を減少させる。	—	—
(4) 安全衛生活動アンケート調査の回答数を令和4年度に比して20%以上増加する。	130社	156社
(5) 協会の安全衛生事業を認知している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	130社	156社
(6) 連合会の安全衛生情報を認知している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	76社	92社
(7) 安全衛生管理体制を構築している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	99社	119社
(8) 協会の安全衛生研修会の参加人数を令和4年度に比して20%以上増加する。	29社	35社
(9) 安全衛生パトロールを実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	76社	92社
(10) ヒヤリハット活動を実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	72社	87社
(11) リスクアセスメントを実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	49社	59社

4. 上半期における活動目標を達成するための取組事項

(1) 経営者の意識改革を図る取組

- ・ 会長が労働安全を高めることへの強い意識を宣言し、事業主に対して安全衛生に係る活動の強化を呼びかける。
- ・ 事業主に対して、連合会作成の「産業廃棄物処理業におけるモデル安全衛生規程及び解説」及び「安全衛生チェックリスト」を周知する。
- ・ 安全衛生大会を開催し安全衛生意識の高揚を図るとともに優良事業場を表彰する。

(2) 会員企業における安全衛生規程の整備を図る取組

- ・先進的な会員企業の安全衛生規程の事例を収集し、会員に情報提供する。
- ・研修会、会報誌、ホームページ等を通じ、安全衛生規程の必要性を周知する。
- ・連合会作成の「安全衛生規程作成支援ツール」を周知する。

(3) 墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の労働災害を減少させる取組

- ・関係監督官庁(労働局、労働基準監督署等)と連携し、地域の労働災害の現状や特徴等を整理し、ホームページ等で情報提供する。
- ・連合会が提供する労働災害情報をホームページ等で情報提供する。
- ・作業計画時等におけるリスクアセスメントの実施を呼びかける。
- ・ホームページに厚生労働省の関連サイトのリンクを張る。



(4) ヒヤリハット事例調査の取組

- ・ヒヤリハット事例調査を実施し、会員企業におけるヒヤリハット活動の推進を図るとともに、調査結果を会員にフィードバックし労働災害の未然防止に資する。

(5) その他の取組

- ・安全衛生活動アンケート調査の回答数増加に努める。
- ・協会が実施する安全衛生事業を周知する。
- ・安全衛生ポスターを作成し配布する。
- ・連合会作成の安全衛生啓発パンフレット等を活用する。
- ・連合会安全衛生サイトを紹介する。
- ・労働安全衛生法に規定されている安全衛生管理体制を周知する。
- ・関係監督官庁や安全衛生アドバイザーに講師を依頼する等、安全衛生研修会の内容の充実化を図る。
- ・会員企業における安全衛生パトロールによる改善事例等の情報を収集し、会員に情報提供する。
- ・厚生労働省・中央労働災害防止協会作成の「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントマニュアル」、厚生労働省の職場のあんぜんサイト「リスクアセスメントの実施支援システム」を周知する。
- ・会員企業におけるリスクアセスメントによる改善事例等の情報を収集し、会員に情報提供する。



特集 令和4年度 ヒヤリ・ハット事例調査結果

令和4年1月から12月までの間に会員企業の産業廃棄物処理業務で、ヒヤリ！ハット！とした事例を調査したところ89事例の報告がありました。内訳は、転倒転落33事例、衝突接触31事例、挟まれ巻き込まれ2事例、飛来落下8事例、その他15事例でした。

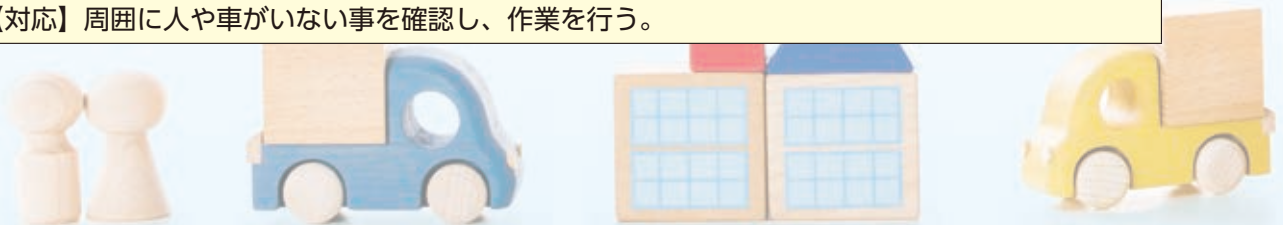
皆様の職場の安全衛生の取組の参考としてください。

《飛来・落下事例》

(転落・転倒)	
1	荷をトラックへ積込している時に、荷台から足を少し滑らせて、ヒヤッとした。 【対応】 確実に作業が出来る空間をつくり、その上で作業をすることとした。
2	アームロール車にてコンテナを交換時、コンテナにシート掛けをする際にコンテナに登って作業をしていたところ、足を滑らせ落下しそうになった。 【対応】 シートを軽いものに変更し、コンテナに登らなくてもシート掛け作業ができるように改善した。
3	現場で移動中、作業員が水路(1.2m)へ転落した。 【対応】 水路の見える化(転落防止柵)が求められる。
4	焼却炉の点検時に足を滑らせ、転倒しそうになった。 【対応】 道路がぬれている時の点検は、最小限にとどめ最新の注意を払うこととした。
5	タンク残量の確認の為に防液堤内に入ろうとした際、防液堤の外の地面に固定されている配管につまずき、膝が防液堤に当たり、打撲した。 【対応】 足元に配管があり、つまずきやすい状態になっていた為、排水経路の見直しを行い配管の位置を問題ない所へ変更した。
6	工場排水処理設備5階にて、排水処理設備点検中に、通路床面に置いてあったデッキに躓き、転倒する恐れがあった。 【対応】 床面に置いてあったデッキを本来の場所へ設置した。通路上にものを置かないよう再周知した。
7	工場炉室1階にて、現場確認のため移動中、床面の安全柵取付用落とし蓋の段差に気付かず、つまずき転倒しそうになった。 【対応】 通路上の床面落とし蓋に注意喚起テープを取り付けた。
8	工場スラグ設備6階にて、日常点検のため、スラグ設備6階を歩行中、床面に這わしていたシュート詰まり除去用の水洗ホースに躓き転倒しそうになった。 【対応】 床面に這わしていたホースを手すりに固定し、床面のホースで躓くリスクをなくした。
9	ガス精製・排水処理1階にて、日常点検のため、通路移動中に、床面側溝の蓋に隙間があり、隙間に足をとられ、躓き転倒しそうになった。 【対応】 側溝の蓋を延長してもらい、隙間をなくした。
10	排水処理4階にて、床面点検中に、床面腐食により穴が開き、転落する恐れがあった。 【対応】 周辺の立ち入り禁止区画を設置し、注意喚起をし、床面補修をお願いした。
11	工場外周、計量所前にて、計量所へ移動するさいに、床面、計量器点検用の蓋、取っ手部分の段差につまずき、転倒する恐れがあった。 【対応】 点検用蓋の周囲に虎島テープを取り付け、取っ手部にピンクテープにて注意喚起をした。
12	工場外周、廃酸タンク窯場内にて、点検中に、床面のオレンジホースにつまずき転倒する恐れがあった。 【対応】 窯場内の不要なオレンジホースを片付け、つまずくリスクを排除した。

13	工場塩製造棟 2 階にて、移動中に、通路上に足元にあった配管につまずき転倒する恐れがあった。 【対応】 通路上に有る配管に三角コーンを被せ、注意喚起表示を取り付けた。
14	廃棄物運搬車（2 t ダンプ）の荷台から脚立使用して降りるときに、脚立がぐらつき転倒しそうになった。 【対応】 セイフティーガード付脚立を使用して昇降することにした。
15	排出事業所にて 1 1 t ダンプの積荷をおろす時に、飛散防止シートを荷の上に乗って外す時、転落しそうになった。 【対応】 1 1 t ダンプのアオリを大きくし電動で開閉するよう改造した。ダンプ上部へ人間が上る必要なし。
16	工場内、部品加工ラインで部品洗浄機のタンク内廃液を収集のため、吸入側ホースを持って通路を歩いていた時、床面が濡れていたため、足が滑り転倒しそうになった。 【対応】 廃液収集等で通路を歩くときは、床面を良く確認し、指差し確認の上で作業着手する事とした。
17	バックホーにグリスアップ中、足元にあったガラで足を取られ転倒しそうになった。 【対応】 足元の整地、足元確認。
18	トラックの積荷の際に、トラックに登る時、滑って転びそうになった。 【対応】 手すり、足かけやステイが無い場合は、要注意して登る。
19	作業中、足元に落ちていた廃プラスチックの破片を踏んでしまい、足を滑らせ転倒しそうになった。 【対応】 こまめに作業場所の清掃を行う。気付いた時には速やかに片付ける。
20	高所作業車でスレート撤去時、思っていたよりも重く、作業員ごと下に転落しそうになった。 【対応】 スレート撤去時は、高所作業車でスレートを支え、転落しないように撤去を行った。
21	重機搭乗時、足を踏み外し転倒しそうになった。 【対応】 ステップを目視確認し、確実に一点支持による搭乗を行う。
22	コンテナの上に乗ってシートをしていた時に、転落しそうになった。 【対応】 コンテナの上に乗らないようにした。
23	高所（1.5 m）から降りたとき、足元に異物があったため、転びそうになった。 【対応】 異物がないか、よく確認する。脚立を使用する。
24	コンベア点検時に原料巻き付きを発見。脚立に上がり除去作業中、脚立がぐらつき転落しそうになった。 【対応】 脚立から足場台に変更した。
25	現場の点検をしていた時に、階段を踏み外し転倒しそうになった。 【対応】 焼却班全員に夜間の点検は昼間と感覚が違うので、十分気を付けて作業する様に伝えた。
26	炉内の点検、クリンカーの除去中に段差につまずき、転倒しそうになった。 【対応】 焼却炉内に入る時は、面体を付けているので足元が見にくいいため、足元に十分注意する様に焼却班に伝えた。
27	重機作業を終え、法面を歩いていたところ、法面がくずれ、落ちそうになった。 【対応】 歩行する際は、よく地盤の確認をして歩行をしている。
28	重機に昇降時、くつがぬれていて、滑って転落しそうになった。 【対応】 すべる箇所にすべり止めテープを貼った。
29	廃液のストレーナーを清掃中に、水でストレーナーを洗い流している時に、足が滑りヒヤリとした。 【対応】 移動する時は、足元を十分に確認し、万が一に備え支えになる物を持つようにする。
30	荷降ろし終了後、トラックのあおり部から飛び降りた際、床面（鉄板）が雨上がり後で濡れており、足元が滑りバランスを崩し転倒しそうになった。 【対応】 あおり部は、飛び降りない。必ず荷台横にあるステップを利用する事を再教育。
31	道が濡れていて、車に乗り込む時に、ステップで滑った。 【対応】 急がず落ち着いてハンドルを持って乗り込む様にする。

32	<p>排出事業場付近の道でUターンをする場所があり、段差もある所でUターンを内回りしすぎたためトラックが傾き、横転しかけた事例が発生した。何度も通っていた道で慣れが生じていたようで、完全な横転には至らなかったが、大事故に繋がりがねない事例であった。</p> <p>【対応】他ドライバーも通る道であったため、従業員定期教育会にて今回の事例を周知。この道に限らず、とおり慣れた道こそ今一度気を引き締めるよう伝達した。</p>
33	<p>運搬中に大型トラックの後ろを走行していて、急に右ウインカーを出されて、衝突しそうになり、急いで左によけた時、ダンプが転倒しそうになった。</p> <p>【対応】前の車との車間距離を広めにするようにした。</p>
(衝突・接触)	
34	<p>車両誘導していた時、誘導車両と接触しそうになった。</p> <p>【対応】車両の真後ろで誘導しないようにする。</p>
35	<p>T字路を右折しようとしたところ、左前から直進してきた車に気が付かず曲がろうとして、ヒヤッとした。</p> <p>【対応】車がいるかもしれないと、もっと意識して運転をする。</p>
36	<p>バック駐車時に別の車両と接触しそうになった。(未接触)</p> <p>【対応】複数人で作業の際は、誘導を徹底する。</p>
37	<p>通勤途上、交差点で先頭で右折待ちをしていて、対向車が途切れたところでスタートしようとしたら、自転車が進行方向に表れてヒヤリとした。</p> <p>【対応】自転車をやり過ごしてから、交差点を横切った。</p>
38	<p>工場スラグ設備1階にて、不適用バック付近点検中に、不適用バック水抜き突起部に足が接触し、怪我をする恐れがあった。</p> <p>【対応】不適用バック突起部に目立つ注意喚起を行った。バックの向きを作業上変更することが出来ないため、水抜き部の注意変更等、改善をお願いした。</p>
39	<p>工場排水処理設備1階にて、移動中に、通路近くにあったマンホール転倒防止デッキに足が接触しそうになった。</p> <p>【対応】転倒防止デッキにトラシマテープにて、注意喚起の取り付けを実施し、接触する恐れのある個所にクッションを取り付けた。</p>
40	<p>工場炉室5階にて、3号炉室5階点検中に、通路上に出ている炉体マンホール冷却水フレキホースに、体が接触しそうになった。</p> <p>【対応】炉体マンホール冷却フレキホースに、注意喚起表示を取り付け、全員に周知した。</p>
41	<p>産廃ケースのチェーンフックを外そうとした時、重機が動きハットした。近くにいた作業員が声を掛け重機を止めた。</p> <p>【対応】玉掛け者とオペでコミュニケーションを図る。</p>
42	<p>カーブの出入口にある交差点を右折しようとしたら、左側の死角から乗用車が猛スピードで進入してきてヒヤリとした。</p> <p>【対応】停止して衝突を回避した。</p>
43	<p>ガラヤードでガラのかきあげ後、バックしようとしていたら、重機の後方にダンプがいた。</p> <p>【対応】重機オペレーターに目視と指先呼称の徹底を再指導した。重機に装備しているドラゴンフライシステムの精度アップ。</p>
44	<p>交差点進入時、自転車と接触しそうになった。</p> <p>【対応】交差点進入時、一旦停止した後に、左右の確認をする。</p>
45	<p>重機旋回作業での整地中、物陰から急に人が出てきてバケットと接触しそうになった。</p> <p>【対応】天地に来ている作業員に声掛けし、重機の半径内立入禁止を徹底した。</p>
46	<p>パッカー車で道路走行中、路地から急に車が出てきた。</p> <p>【対応】安全速度で走行した。</p>
47	<p>フォークリフトで荷物を計量時、突然車が飛び出してきた。</p> <p>【対応】周囲に人や車がない事を確認し、作業を行う。</p>



48	トラック (ウィング車) 2 台の横を横切る際、トラックの間からフォークリフトが飛び出してきた、接触しそうになった。 【対応】 常に「○○かもしれない」と心掛けて、同様の場面に遭遇した時は、走行スピードを落とし通過するようにした。
49	狭い駐車場にバック駐車をしている最中に、1 回目のバックモニター確認の際は誰もいなかったのに、左右確認後、2 回目のバックモニターを確認したら、急に人が現れてビックリした。 【対応】 止まったが、狭い駐車スペースだった為、歩行者が速やかに避けてくれた。その後バック駐車をした。
50	直進中に、右折しようとしてくる車が危険と感じた。 【対応】 右折車を優先した。
51	よそ見していたら、前の車にぶつかりそうになった。 【対応】 ちゃんと前を見て運転する。
52	産廃を運搬中に横断歩道のない場所から、人が飛び出してきた。 【対応】 朝礼で事例を紹介し、全従業員に周知した。
53	重機で原料をベルトコンベヤに投入作業中、原料を積み回転時に人や機材に接触しそうになった。 【対応】 周囲を十分確認し、作業を行う。
54	NO. 3 焼却ピットで重機が攪拌中に重機車両の周囲を他の作業員が通過した。重機作業中は前後に動き死角ももあるため、作業員も通ると接触する可能性があった。 【対応】 重機作業時、周囲にインカムで作業開始の旨を伝える事と、前後移動時には周囲の確認を徹底する様にする。
55	バックホウの後方を通行時、バックしたのでヒヤリとした。 【対応】 重機のオペに、自分の存在を確認させ、確認後に車両の前後を通行する。
56	木の選別中に、重機オペレーターが旋回前の周囲の確認を怠った為、手作業をしていた作業員にフォークが当たりそうになった。 【対応】 オペレーターに周囲の確認を徹底するよう注意し、旋回前にホーンを鳴らすようにした。作業員にも重機の作業範囲に立ち入らないよう注意した。
57	運転中、わき道からいきなり車が出てきて、ぶつかりそうになり、急ブレーキをかけた。 【対応】 前方確認、速度を落とす。
58	ショベルでヤードから道路へ出るときに、スピードを出した自転車が近くを走行してぶつかりそうになった。自転車はそのまま走り去った。 【対応】 一時停止、左右確認、などさらに注意して運転。
59	排出事業内を速度 10 km で走行中、後ろから来た自転車が左側から自車を追い越し、駐輪場に入るために自車の前に大きく膨らんできたため、接触しそうになった。 【対応】 場内ルールを確実に守り、いかなる場合でもすぐに対応できる様にした。安全ミーティングをチーム内で行い、朝礼にて情報を共有した。
60	国道 250 号線、見通しの良い直線道路を走行中、左側駐車場から停止していたバイクが急に飛び出して、急ブレーキ、急ハンドルで衝突を回避した。バイクが見えていたので、もしかしてと思い、アクセルをオフにしていた。 【対応】 今後も”かもしれない運転”につとめ、慎重な運転を心掛ける。
61	産廃廃棄物を一輪車に積んで運搬していた時に、バックフォアがすぐ近くまで迫って来ていて危うくひかれそうになった。 【対応】 重機作業範囲内に作業員を立ち入らせない為、バリケードを置いて誘導員を配置する。
62	作業員が構内を徒歩にて移動中、後方よりフォークリフトが後退移動にて作業員に接近。構内が騒がしいのでフォークリフトの後退警告音に気付かず作業員が歩行していたが、後方より気配を感じたので振り返ると、フォークリフトが接近しているのを発見して、路肩に移動して難を逃れた。 【対応】 KY 活動にて、構内歩行開始時に、近くにフォークリフトの存在位置を確認して、フォークリフトに接近しないよう注意することを話し合った。



63	<p>初心者マーク委の女性ドライバーが、確認せずコンビニ駐車場から出てきた。交差点では止まれる速度で走行しているの、ぶつからなくてよかった。 【対応】 道路に出る際には、左右の確認を十分した上で、出るようにする。</p>
64	<p>重機旋回時、いつもと違う位置に止めていた、破碎機コンベア上部に接触しそうになった。 【対応】 急に移動又は旋回する時は回りの状態をよく見廻し、日頃から高さのある旋回をしてぶつけない様にする。</p>
(挟まれ・巻き込み)	
65	<p>クレーン仕様の重機のバックンを移動しようとしていたところ、バックンのかげに人がおり、挟まれそうになった。 【対応】 合図者を定め、安全確保ののちに移動するようにした。</p>
66	<p>工場廃油タンクヤードにて、廃油ヤード窯場、雨水を排出するため、バルブを開ける際、床面鉄板とバルブハンドルの間が狭い為、ハンドルと床面鉄板との間で指を挟む恐れがあった。 【対応】 床面鉄板を加工し、バルブハンドル操作時に手が床面に干渉しないようにした。</p>
(飛来・落下)	
67	<p>積替保管場において、2 tトラックの荷台に不燃ゴミを積載していたところ、放り込んだ物の中にガラス片が混入していたため、その破片が隣にいた作業員の左腕に当たったもの。作業服が少し切れたが、ケガにはつながらなかった。 【対応】 不燃ゴミの中には、危険な物が混入していることが多い為、今後積込にあたっては、周囲に配慮するとともに、特に飛散物がありそうな時は、充分注意して積載するよう、周知徹底した。</p>
68	<p>中間処理場へ搬送の際に、普段積まない廃棄物を運送していたため、トラック荷台内で廃棄物が動き、音が出て落下の危険性を感じた。 【対応】 車両を安全な場所で停止し積荷の確認を行ったが、問題なかった。</p>
69	<p>山間部を走行中、先が見えないカーブで大きな石が道路沿いに落ちていました。急ブレーキを踏み衝突しそうになった。 【対応】 道路の片隅に移動させて危険回避した。</p>
70	<p>足場上での作業中、壁面に付着した雨水管を切断したところ、雨水管が切断途中で割れ、下に落下しそうになった。 【対応】 2人作業で1人が抑えた状態で切断し、すぐに建物内に引き込むことで、落下の防止を図った。</p>
71	<p>バックホーにて、フレコンを吊り上げ、フレコンの中身を破って出す作業を行っている際、ワイヤーフックが片方外れ、吊り荷が落下しそうになった。 【対応】 ワイヤーフックを吊り荷に掛け持ち上げる際、ワイヤーフックの掛かりやよじれが無いのか、地切り確認を確実にを行う。</p>
72	<p>事業場内にて廃棄物の積込作業時、廃棄物が飛来し、接触しそうになった。 【対応】 積込作業時は付近への立ち入りを禁止していたが、さらに安全な距離を確保し、積込作業員と、他の作業員との意思確認を徹底するよう再度周知した。</p>
73	<p>BHで木屑を選別中、長物の柱があったので、破碎機に入るサイズにしようとBHでつまみ折った時、木くずがフロントガラスめがけて飛散し、ヒヤリとした。 【対応】 木屑を破碎(柱などの長い物)を破碎時は専用のアタッチメントが付いた物を使用する。</p>
74	<p>解体工事現場で両手で一つの大きな廃材を積込作業中、廃材が二つに割れ足の上に落下しそうになった。 【対応】 大きな廃材は二人一組で積込、安全靴は丈夫で安全なものとした。</p>
(その他)	
75	<p>トラック後部の扉を開く際に、勢いよく開き、接触しそうになった。 【対応】 扉の後ろに立たず、周囲の確認をして開く。</p>
76	<p>3 tダンプにASガラを積み込み、ASプラントにて荷下ろしをする時、3 tダンプのリアゲートを開けた時にASガラが3 tダンプより自分の足元に落下した。 【対応】 リヤゲートを開ける前に、ASガラの西姿を確認する。</p>



77	<p>瀬戸内市牛窓町牛窓地区の可燃ごみを収集中にフェリー乗車場近くのステーションでパッカー車内で大量のマッチが燃え始めているのを発見。車内の消火器で一次消化をし、クリーンセンターかもめへ電話連絡し、かもめにて、瀬戸内市職員により、完全に消化した。後刻、生活環境課から「マッチは水にぬらしてから、ごみとして出すよう」排出した市民に指導された。</p> <p>【対応】・各社に消火器が整備されているが、使用期限は適切か確認した。・消火器以外の吸着シートや清掃用具などの確認をした。</p>
78	<p>汚泥積込中の汚泥こぼれ。</p> <p>【対応】 無理な積込はしない。</p>
79	<p>移動式クレーンで作業を行っている時、後方で吊った荷物を側方へ旋回させた際、アウトリガーが浮き、車両が傾きヒヤリとした。</p> <p>【対応】 特に、後方吊りでは、定格荷重以下の量かどうか十分に確認した上で、旋回時には吊り荷を低く下げて行うようにする。また、アウトリガーは最大に引き出して作業を行う。</p>
80	<p>鉄骨修理補修するために、溶接作業をしていた。火花が鉄骨上部から飛び火して、下を転がり草むらに入り、2～3 mではあるが、燃え広がる。(真夏で乾燥していたこともある。)</p> <p>【対応】 消化水、消火器を取りに行く時間もなく、2名で靴や皮手で消化し、消化後、消化水を取りに行き、焼け焦げた場所に水を撒くことになった。</p> <p>※見張員の設置や消火器を準備など、短時間の軽作業でも余裕をもって危険可知を行う。</p>
81	<p>重機作業の途中で、正しい重機の停止姿勢をとらずに停止させて、操作レバーを握ったまま少し別の事を考えていたら、無意識のまま操作レバーを引いていて、アームが前方へ動き、上部へ上がっていた。</p> <p>【対応】 作業を中断する際には、アタッチメントを路上につけ、正しい停止姿勢をとる。ロックレバーをかけておく。</p>
82	<p>廃プラスチックの前処理破砕をしていた時に、硬質プラスチックがバックホウのフロントガラスに当たった。</p> <p>【対応】 破砕処理時は距離を置くようにした。</p>
83	<p>現場でフックロールにて、BOX人替時にBOX側にフックと車両側のフックがきちんと掛かっていなかった。</p> <p>【対応】 両側のフックを再確認しながら、安全に作業を続けた。</p>
84	<p>重機で鉄を掴んでかき上げる作業中、中身の入ったスプレー缶が紛れ込んでいて、ボン！と音がし、出火した。</p> <p>【対応】 直ぐに消化した。上司の指示に従い、今後スプレー缶などは、確実にガス抜きを行うよう対応した。</p>
85	<p>バックドアを閉めようとして、頭を打ちそうになった。</p> <p>【対応】 落ち着いて確認して、ドアを閉めようと思った。</p>
86	<p>バキューム者を運転中、箕島処分場入口の一方通行道路を普通自動車が逆走してきてヒヤリ・ハットした。</p> <p>【対応】 周囲の確認、徐行・安全運転を心がけていたので、回避できた。</p>
87	<p>荷が入っているフレコンをユニックで吊っていた時、フレコンの紐がちぎれて落ちた。</p> <p>【対応】 フレコンの劣化を確認してから作業した。</p>
88	<p>ゴミ袋を数個持った時に、腰を痛めそうになった。</p> <p>【対応】 一度に持つ量に気を付けるようにした。</p>
89	<p>工場炉室5階にて、塩製造等3階点検時、手摺近傍、床面上にある塩酸配管を踏み、破損させ、塩酸を被液する恐れがあった。</p> <p>【対応】 塩酸配管を踏むことのないよう、配管手前に保護板を設置した。</p>



特集 令和5年度労働安全衛生研修会報告

日時：令和5年9月19日(火)13:30~16:00

場所：岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

講師：岡山労働局労働基準部健康安全課 妹尾課長補佐、高橋労働衛生専門官

テーマ：労働災害の発生状況、災害発生時の対応、法改正の動向

参加者：会員52名

■労働災害発生状況の特徴

- ・転倒、転落、挟まれ事故が多い。
- ・車からの転落事故が多い。
- ・フォークリフトによる死亡事故が多い。

■労働災害発生時の対応

- ・労働災害が発生したら刑事責任、行政責任、民事責任、社会的責任がかかってくる
- ・消防署、警察署、労働基準監督署等への連絡
- ・実況見分、災害調査への立会
- ・労働基準監督署への報告等「労災隠しは犯罪」

【ヒント】

- ・監督署が突然やって来たら「よい機会だ」と捉える
- ・安全衛生活動に「これをやれば終わり」ということはない

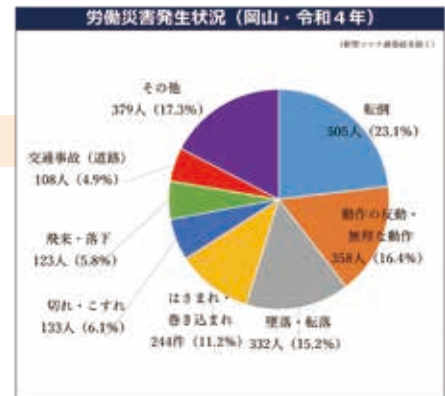
■法改正の動向

【石綿関係】

- ・労働安全衛生法令と大気汚染防止法令で少し異なる
- ・建築物解体時等の事前調査は建築物石綿含有建材調査者が実施 R5.10.1施行
- ・工作物の事前調査は令和8年1月1日から規制強化

【トラックでの荷役作業時における安全対策】

- ・昇降設備の設置、保護帽の着用義務の拡大 R5.10.1施行
- ・テールゲートリフター使用作業の特別教育 R6.2.1施行
- ・運転位置から離れる場合の措置緩和 R5.10.1施行



労働災害が発生したら・・・

事業者にかかってくる四大責任

刑事責任	行政責任
労働安全衛生法違反	行政処分
刑法（業務上過失致死傷）	行政指導
民事責任	社会的責任
損害賠償	報道→社会的信用や取引への影響

従業員の安全と健康の確保は事業者の義務です！

労働災害が発生したら・・・

- I 関係機関への連絡**
消防署、警察署、労働基準監督署・・・その他関係先
あらかじめ連絡先一覧表を作成しておく
- II 実況見分・災害調査への対応**
事故の日撃者、責任者など関係者の立会が必要
- III 労働基準監督署の手続き・報告**
・労災保険の手続き
・死亡又は休業を要する事故の場合は、遅滞なく所轄の労働基準監督署に労働者死傷病報告を提出



岡山東
支部

第15回岡山県産業廃棄物協会 岡山東支部地域環境クリーン化事業 レポート

実施日：令和5年1月27日(金)
実施場所：瀬戸内市邑久町虫明地内
回収量：610キロ



コロナの流行で開催できなかった地域環境クリーン化事業を3年ぶりに開催することができました。寒波が続き、早朝から雪の降る大変寒い日ではありましたが、多くの会員さん、役所の方、地元町内の方が参加してくださいました。今回初めて参加して下さった会員さんもおられ、大変にぎやかなクリーン化事業となりました。

今回作業を行った場所は、岡山ブルーライン大平山インターチェンジに程近い、瀬戸内市虫明地内の道路沿いの斜面です。ここは、第8回のクリーン作戦で作業した場所と同じ場所になります。不法投棄するのは簡単かもしれませんが、勾配のきつい斜面から回収するのは大変です。7年の間にタイヤやテレビ、スレート、瓦など様々なゴミが捨てられており、一度きれいにした場所で、不法投棄が繰り返されているのは残念でなりません。

作業後には、不法投棄が繰り返されないことを願い看板を設置し、集合写真を撮って作業終了となりました。

また、東支部のクリーン化事業の目玉としています協会青年部とのタイアップ企画、地元小学生への環境学習も同時に開催しました。残念ながら悪天候のため不法投棄現場の見学は中止となりましたが、教室での出前授業は開催できました。当日の作業写真を見せると、驚きの声があがりました。身近なところに不法投棄があることを知り、ゴミの分別、リサイクルの大切さを学んでいただけたと思います。

最後になりましたが、参加して下さった会員の皆様、役所の皆様に心より御礼申し上げます。



青年部会第12回通常総会が開催

～過去の活動報告と将来の展望について～

令和5年5月27日(土)に岡山プラザホテルで一般社団法人岡山県産業資源循環協会青年部会第12回通常総会を成功裏に開催しました。総会ではメンバーや関係者が一堂に会し、青年部会の過去の活動成果と将来の展望について情熱的な議論を繰り広げました。

総会の冒頭では、宇野会長が挨拶を行い、岡山県



産業資源循環協会会長の大塚雅司様、青年部会担当理事の藏本悟様よりご祝辞を賜りました。

その後、定足数の確認、議事に移り1号議案から6号議案まで滞りなく原案通り承認されました。参加者の皆は、青年部会の成長と共に築く未来への意欲を示し、総会は活発な意見を交わしました。岡山県産業資源循環協会青年部会は、この総会をきっかけに一層の活動展開と会員の参加を促進していく決意を示しました。

議事終了後、新部会員の紹介があり、最後に古山副会長のあいさつで通常総会が閉会となりました。

総会当日は一般社団法人岡山県産業資源循環協会の30周年記念式典が同時に催され、青年部会一同、式典を盛り上げる思いを一つにしました。



第17回親子エコツアー

青年部会では8月18日(金)に目玉イベントである『第17回親子エコツアー』を開催致しました。昨年のバイオディーゼル岡山殿に続き部会員企業である【株こっこー殿でのリサイクル施設見学】【環境学習】【ものづくり体験】と三部構成の開催です。

今年5月8日に新型コロナウイルスが5類に引下げられたことを受け、コロナ渦以前のバスツアーでの実施へと舵を切りました。また、近年では企業の働き方改革により土日の見学先選定に大変苦慮しておりました事から、平日開催にチャレンジしました。代償として保護者の都合が付かず、参加者が激減するリスクもありましたが親子66名(子供36名、保護者30名)、青年部会スタッフ19名の参加で実施する事が出来ました。

見学先の株こっこー殿には子供たちが興味を惹かれる仕掛けや暑さ対策をして頂き、身近にある《空きビン》が防犯砂利や土壌材に変化していく様を見てもらいました。猛暑の中にもかかわらず目を輝かせて見学していた子供たちがとても印象的です。

環境学習は伝統のカリキュラムに沿い、講師を替えながら、新しい会員が参加する事で青年部会全体の経験値底上げを図りました。クイズや質問に沢山答えてくれた子供たちの学習意欲には関心させられました。

ものづくり体験でも外部講師主体から趣向を変え、部会員が講師となって割り箸輪ゴム鉄砲を作りました。箸の縛り方にコツがあり完成までに苦戦を強いられた子供たちでしたが、愛銃による菓子箱めがけての射的には大いに盛り上がりを見せました。

参加者から「すごく楽しかった」「来年もリピートしたい」などの暖かい言葉と「分別の大切さについて親子で勉強になった」や「スタッフ対応とスケジュールリングに満足」等お褒めのアンケート結果を頂き、ますます活動意欲を掻き立てられました。

親子エコツアーは社会貢献度やアピール度からみても確たる取組みです。青年部会は協会の認知度向上に向け、今後も邁進して参ります。



令和5年度災害廃棄物対策委員会 『オオノ開発(株)東温事業所』日帰り視察研修会レポート



令和5年3月8日(水)災害廃棄物委員会の視察研修会を開催しました。参加人数は15名で『オオノ開発(株)東温事業所 フレップとうおん様』を視察させて頂きました。集合は、協会事務所もしくは与島PAとし中型バス一台に乗り合わせ向かいました。道中は、委員会としては初の研修ということもあり皆活発に親交を図っていました。視察前に愛媛県西条市にある『りんりんパーク』立ち寄り昼食を取りました。地元食材をふんだんに使った料理をおいしく頂きました。

13時に目的地であるオオノ開発(株)東温事業所『フレップとうおん』に到着し視察させて頂きました。視察に当たって、法務管理課長 丹下様をはじめ数名のスタッフの方に対応いただき施設の説明を受けました。

フレップとうおんは、敷地面積500ha (5,000,000㎡、東京ドーム約109ヶ分) の広大な施設で、今なお拡大しているとの事でした。

その処理能力も凄く

- ・産業廃棄物及び一般廃棄物の焼却施設
120t/日×2基、12.8t×1基
- ・汚染土壌の焼成施設360t/日×2基、
144t/日×1基
- ・木屑破碎施設480t/日
- ・汚染土壌洗浄施設720t/日



さらに同敷地内には、環境科学研究セン

ター「オオノ・ラボ」、低濃度PCB処理施設、SST・SSHプラント、再生砕石プラント、汚染土壌無害化処理施設、管理型埋立処分場、沈砂池、残土置場、砕石中継地、フレップ温泉、受付事務所など多くの施設設備が整備された複合型処理施設で、30年7月豪雨の際には愛媛県内の災害廃棄物も受け入れ、今後発生するかもしれない南海トラフ地震に向けても準備しているとの事でした。

広大な敷地を場内バスで移動しながら、丹下様他スタッフの皆様にご案内していただき、災害時の処理のみならず通常の処理・処分についても大変勉強となりました。

おわりに、今回の視察研修会にあたり視察を受け入れて頂いたオオノ開発(株)東温事業所の皆様、また蔵本委員長以下参加者の皆様のご協力により、大変有意義な視察研修会になったこと心より感謝致します。



夏はバイク、冬はスキー、最近は大イビング

津山支部 竹藤建設株式会社 竹藤健太郎



まずは、バイクの趣味について御話しします。私がバイクに興味を持ったのは高校生の時でした。原付バイクをのった後、大学生になり、中型二輪免許を経て限定解除(大型二輪免許(当時は教習所では取得できませんでした))の試験を、岡山で4回、練習所に通い大阪に住所変更し大阪で4回の計8回で合格しました。その際、練習所の卒業生からフレームを塗るために丸裸にしたバイクを安く譲ってもらい、二週間かけて組立て(少し部品が余りましたが…(笑))、ユーザー車検にて車検を通し乗って帰

った経験があります。その時の最初にエンジンがかかった時の感動は今でも忘れられない記憶です。現在では、複数台のバイクを所有し、元白バイのバイク屋さんが開催するスクール参加やジムカーナで運転技術を学び、SSTRというバイクイベントの参加、オフロードバイクでのオフロードコースでの走行などもやっています。

コロナ前までは良く行っていたライディングスクールは、毎月一回、神戸での開催で朝五時に出発夕方まで練習、その後帰宅と言うバイク三昧の一日を、4月頃～10月頃まで、毎月近く参加していました。

合宿でのスクールにも参加していました。最近が開催場所が奈良になり、さすがに行けなくなりましたが…。

左上の写真の様にバンパーを付けた大型バイクに跨り何度も転倒し骨折もしながら練習していたのも良い思い出です。

2018年より毎年参加しているのがSSTRというツーリングイベントで、太平洋や瀬戸内海の南側の海岸で日の出より後に出発し、SAや道の駅でポイントを取得しながら、日の入までに石川県千里浜なぎさハイウェイという砂浜の海岸をゴールするイベントになります。



いつもは大型バイクで参加するのですが、昨年のPremium(10周年)では、ハンターカブという125CCのバイクを軽バンに積み名古屋まで進み、名古屋～石川の片道315kmを走りました。一般道を…。

往路は楽しくゴール出来たのですが、復路の名古屋までが長く、さらに車に積み込んだ後の真庭までの距離も大変でしたが、また行ってみたいと思う様な不思議なツーリングイベントです。

昨年からは、オフロードバイクにも興味を持ち、オフロードコースを走っています。泥だらけになりながらタ

イヤを滑らせながら走っていく感覚は、オンロードでは体験できない様な経験が出来ます。

残念ながら、後に書かせていただく新たな趣味により、今年は一度もオフロードコースに行けていませんが、来年以降、オフロードバイクもしっかり乗っていきたいと思っています。

次に、スキーについてですが、大学4年生の時に友人と行ったのが、ほぼ初めてでボーゲンで初心者コースを滑るのがやっとでした。しかし、社会人になってからスキーにはハマリ遊びのスキーを数年した後、ふと目に入ったバジジテストに申し込んだのが本格的に始めるきっかけになりました。その時はバジジテストの種目も意味も分からず全日本スキー連盟2級のテストを受け、最低の点数で落ちました…(苦笑)。そこで、スキーの基本を学ぶ為、兵庫県のハチ北スキー学校にシーズン券を購入して、毎週末にレッスンを受けに行き、平日の仕事終わりには、1時間位で行ける蒜山ベアバレースキー場で2時間程度練習し、週末には兵庫県スキー学校でレッスンを受けるというルーティーンで猛練習をしました。その後、縁あつ



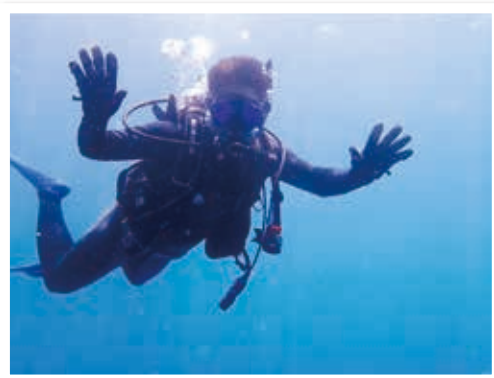
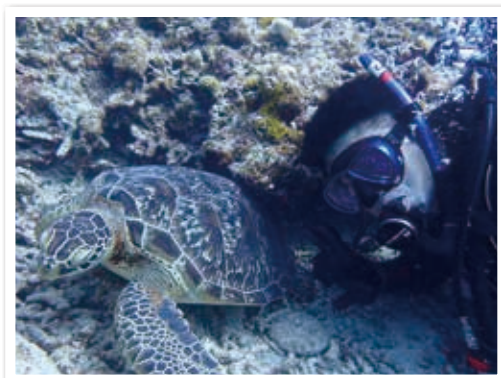
て現在も所属しているスキークラブに所属し、レッスンを受けながら、2級と1級を取得しました。その後、青年会議所という団体に所属し、以前ほどスキーに時間が取れず年間の滑走日数は減っていましたが、青年会議所を卒業後は、また、スキーの時間を作り、全日本スキー連盟公認の準指導員、正指導員という資格を取得しクラブ内での講習を行ったり、更なる技術向上の為、レッスンを受けたりしながらスキーを楽しんでいます。子ども達もスキーが好きで、年に1~2回は、長野や北海道でスキーを楽しんだり、スキーの指導者の方々やクラブの仲間をはじめ地元の方々など、様々な方とスキーを通して仲間になり北海道のスキー場や、バックカントリースキーという2時間歩いて山を登り、30分程度滑るというスキーも八甲田山(青

森県)で、毎年、仲間と行っています。

バイクもスキーも、地元の同業者の方々や異業種の経営者の先輩方とも一緒に楽しんでいます。以前、広報誌『くりにん』でバイクの記事を書かれたNさんとも今年はツーリングに行けました(笑)。同じ趣味で同じ時間を共有する事で、仕事の面でも多くの学びやヒントを頂きながら趣味を通じて共に楽しみ刺激し合える様な関係で、これからも趣味を楽しんでいきたいと思ひます。

最後になりましたが、地元のスキー仲間(同業者の先輩や異業種の先輩経営者など8名)でスキューバダイビングのライセンスを4月に取りました。その後、またまたハマって…。今までに16日(全39ダイブ)、今シーズン、ダイビングを楽しんでいます。

今後も、現在の趣味を大事にしながら、色々な事にチャレンジしていきたいと思ひます。



倉敷支部 アーバンロード開発工業(有)

UR アーバンロード開発工業株式会社

■会社名：アーバンロード開発工業株式会社

■代表者：代表取締役 西川 富代子

■本社：〒710-1102

岡山県倉敷市茶屋町早沖1570-1

TEL 086-436-8866

FAX 086-436-8877

■事業内容：舗装工事業、土木工事業、
産業廃棄物収集運搬業（岡山県・倉敷市）



我社は、道路工事・土木工事を主に岡山県・倉敷市の指名業者として又民間様からの請負い工事をさせていただいております。

リサイクル活動としては、アスファルト工事・土木工事による産業廃棄物を細分化・種別化し、再生材料又はエネルギーに変換するための収集運搬を自社で行っています。

未来の循環型社会への確立と推進を願いつつ、我社に出来る事をこれからも最善で取り組んで参ります。



賛助会員 株式会社重藤組



さあ!

動きだせ。
~ 100thに向けて~

私たち重藤組は、建設業を通じて
楽しさ安心信頼を届ける総合建設業です。
100周年企業に向け、私たちは歩み続けます。

シゲとトウちゃん

アートウォールで街を元気に！



SGD s の取り組みで
障害ある方の作品を
工事現場に。作者の社
会進出のお手伝いを
しています。

警備会社設立で子供の未来を！



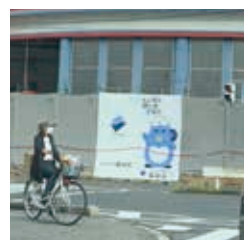
街の子供たちから
いじめを無くしたい。
安全を守りたい！
2022年から警備会社
を立ち上げました。

電車・バスで街を明るく！



路面電車やバスに
弊社マスコットの
オリジナル車輛で
街を楽しく！
明るくしています。

楽しい街づくりに一役！



工事現場にも弊社
マスコット登場。
街行く人の笑顔が
岡山をもっと楽しく
していきます。

岡山の街を元気に！子どもの未来を守る建設会社です。

株式会社重藤組 代表取締役 重藤武士

本 社 / 〒702-8022 岡山県岡山市南区福成3丁目6-22

TEL. 086-263-8811

広島支店 / 〒730-0847 広島市中区舟入南3丁目19番26-101号

TEL. 082-232-3665

新入会員の紹介コーナー (2023.2.1~2023.9.30入会)

※支部別、あいうえお順

【岡山西支部】

(株) inspection

代表取締役 野田 龍太郎
701-0221岡山市南区藤田886-4
TEL.086-259-0280 FAX.086-259-0281
収集運搬業 令和5年7月12日入会

【岡山西支部】

(株) 雅祥

代表取締役 寺下 公保
702-8031岡山市南区福富2-12-18
TEL.086-263-8749 FAX.086-263-8796
収集運搬業 令和5年7月12日入会

【岡山西支部】

山陽施設工業 (株)

代表取締役 井上 英則
701-0144岡山市北区久米248-11
TEL.086-242-0111 FAX.086-241-4702
収集運搬業 令和5年3月15日入会

【岡山中央支部】

(株) 大建工務店

代表取締役 大賀 康広
706-0011玉野市宇野4-11-28
TEL.0863-31-3247 FAX.0863-31-3248
収集運搬業 令和5年3月15日入会

【岡山中央支部】

(株) ダイシン

代表取締役 田淵 大治
700-0924岡山市北区大元2-6-24
TEL.086-244-8660 FAX.086-244-8620
収集運搬業 令和5年3月15日入会

【岡山中央支部】

(株) 離宮庭苑

代表取締役 小崎 文雄
706-0304玉野市番田1680
TEL.0863-66-5318 FAX.0863-66-9001
収集運搬業 令和5年7月12日入会

【東備支部】

(株) 遠藤運輸

代表取締役 遠藤 博道
709-0522和気郡和気町三方663
TEL.0869-88-0101 FAX.0869-88-0201
収集運搬・中間処理業 令和5年4月25日入会

【東備支部】

成広建設 (株)

代表取締役 谷口 淳介
709-0835赤磐市西中240
TEL.086-955-6625 FAX.086-955-6864
収集運搬業 令和5年7月12日入会

【東備支部】

(株) 三輪建設工業

代表取締役 庄田 英雄
709-0861岡山市東区瀬戸町瀬戸86-15
TEL.086-238-2897 FAX.086-238-2898
収集運搬業 令和5年3月15日入会

【倉敷南支部】

エイチビー (株)

代表取締役 大田 翼
106-0045東京都港区麻布十番1-7-11
麻布井上ビル7階 (株)ジェイクレスト内
TEL.03-6432-4960 FAX.03-6432-4968
最終処分業 令和5年3月15日入会

【倉敷南支部】

(株) 東洋研掃

代表取締役 近藤 泰啓
711-0906 倉敷市児島下の町1-2-7
TEL.090-8995-9314 FAX.086-454-5881
収集運搬業 令和5年4月25日入会

【賛助会員】

(株) タウ 広島支店

支店長 三上 富史
730-0051 広島県広島市中区大手町3-8-1
大手町中央ビル10F
TEL.082-249-2911 FAX.082-249-2933
令和5年3月15日入会

【賛助会員】

ファンファーレ (株)

代表取締役 近藤 志人
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番8号
A YOTSUYA ビル 1NW/2
TEL.050-1748-2697 FAX.050-4561-3334
令和5年3月15日入会

【賛助会員】

(株) 日本トリム 岡山営業所

所長 卜部 浩一
700-0024 岡山市北区駅元町15-1
リットシティビル4F
TEL.086-251-5711 FAX.086-251-5722
令和5年4月25日入会

令和5年度研修会開催予定

種類	日時	場所
産業廃棄物管理者研修会 (労働安全衛生研修会)	令和5年9月19日(火) 13:30~16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山
産業廃棄物実務担当者研修会 1回目	令和5年10月25日(水) 13:30~16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山
産業廃棄物実務担当者研修会 2回目	令和6年1月26日(金) 13:30~16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山
優良施設視察研修会 宿泊研修	令和5年10月20日(金) ~10月21日(土)	熊本県熊本市
優良施設視察研修会 日帰り研修	令和5年11月中旬	調整中

注) ・日時、場所等は変更することがあります。

- ・1月半前~1か月前に開催のご案内をします。
- ・産業廃棄物処理業優良認定説明会は開催しません。個別にご相談ください。

お知らせ

このたび協会では、西日本自動車共済協同組合の団体紹介取次所として登録しました。この共済組合の自動車保険に加入するかどうかは会員企業さま個々のご判断となりますが、加入される場合は団体割引等のメリットが受けられます。加入者は中小企業の会員企業とご家族、従業員の皆様となっています。詳細は下記までご相談ください。

西日本自動車共済協同組合 岡山県支部
岡山市北区西古松237-126 電話086-246-3355

スキルアップを考えている方に必須の試験です！



産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)



本検定は環境大臣登録の「人材認定等事業」です

令和5年9月に産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)公式テキストを発行しました。
検定試験の学習にご活用ください。(https://www.zensanpairen.or.jp/application/books/)

こんな人のニーズにおすすめです

- 人事・管理部門
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身についているかを確認したい方。

この検定に合格すると...

- 合格証明書カードが発行されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることを連合会が認定します。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】 令和6年2月18日(日)10時～11時30分

- 【申込方法】 専用ポータルサイトにて受付
- 【受付期間】 令和5年12月1日～令和6年1月18日
(ただし各会場定員になり次第、受付を締め切ります)
- 【試験形態】 マークシート方式による筆記試験
- 【試験範囲】 廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿、保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

受験料: 12,100円(税込)



<https://www.zensanpairen.or.jp/application/seminar/>

全産連 研修会・セミナー

検索

【試験会場(予定)】 全国14会場で同時開催

最寄りの会場をご利用ください

開催場所(定員)	岩手県(90名)	栃木県(130名)	群馬県(40名)	千葉県(80名)
会場名	アイーナ いわて県民情報交流センター	栃木県総合文化センター	群馬建設会館	千葉県教育会館
	東京都(300名)	神奈川県(190名)	新潟県(80名)	長野県(40名)
	TKP市ヶ谷 カンファレンスセンター	かながわ労働プラザ	新潟県建設会館	ホテル信濃路
	静岡県(50名)	愛知県(150名)	三重県(50名)	広島県(80名)
	レイアップ御幸町ビル	名古屋国際会議場	三重県総合文化センター	広島YMCA国際文化センター
	福岡県(80名)	熊本県(110名)		
	福岡県中小企業 振興センター	ユースピア熊本		

【後援】 環境省

- 【共催】 (一社)岩手県産業資源循環協会 (公社)栃木県産業資源循環協会 (公社)群馬県環境資源創生協会 (一社)千葉県産業資源循環協会
(一社)東京都産業資源循環協会 (公社)神奈川県産業資源循環協会 (一社)新潟県産業資源循環協会 (一社)長野県資源循環保全協会
(公社)静岡県産業廃棄物協会 (一社)愛知県産業資源循環協会 (一社)三重県産業廃棄物協会 (一社)広島県資源循環協会
(公社)福岡県産業資源循環協会 (一社)熊本県産業資源循環協会

《お問合せ先》

公益社団法人
全国産業資源循環連合会
〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4階

検定試験担当
TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820
<https://www.zensanpairen.or.jp>
●営業時間/月～金 9:00～17:00
●定休日/土日・祝日

2023.08



写真提供：夏まつり西大寺実行委員会（岡山商工会議所西大寺支所）

夏まつり西大寺夜待まつり花火大会
岡山県西大寺観音院を中心に行われる「夜待まつり」と合わせて開催される花火大会。境内ではおどり連による演舞、会陽太鼓・西大寺吹奏楽団の演奏などが繰り広げられ、祭りムードを高める。花火大会の目玉は、直径約160mに花開く5号玉と水面に映る花火。約1,000発の花火が夜空も川面も美しく彩り、観客を魅了する。今年は7月15日(土)に開催され、毎年3万人もの人出がある。

編集後記

みんなが知ってる子守唄
「ねんねんころりよ おころりよ
坊やの子守りは どこへ行った
あの山越えて 里へ行った
里のおみやげ 何もろた
でんでん太鼓に 笙の笛
ねんねんころりよ おころりよ」

竹田の子守唄等の他の子守唄を読み解くと奉公している女中が、そのときの境遇を唄いながら自分の辛さ、奉公のつらさ、世間を皮肉った唄が多い。

みなさんも子守唄をググってみてください。

子守唄はチョットした夏のホラーです。ゾッ…

(by033)

会報・クリーン岡山第67号

令和5年9月30日発行

発行 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版



温室2棟

混合調整施設
焼却施設:2炉

中間処理施設

破碎施設:2基 管理棟

県道より
1.4km

浸出液処理設備

管理型最終処分場

コンクリート擁壁

浸出液調整池

防災調整池

防災調整池

複合型産業廃棄物処理施設 「E・フォレスト岡山」稼働。

安全であることを最優先に。廃棄物という資源を循環させ、新しいエネルギーを生み出すために、西日本アチューマツクリーンは広大な吉備高原の中に、唯一無二の複合型産業廃棄物処理施設「E・フォレスト岡山」を建設しました。私たちは、これからも地域社会との共生を図りながらサステナブルな未来づくりに貢献していきます。



施設概要

[敷地面積]約1,800,000㎡ [開発面積]99,000㎡
[管理型最終処分場 面積]37,137㎡ [中間処理施設 面積]10,470㎡

管理型最終処分場

処理能力

埋立容量 / 511,334㎡ (面積 / 37,137㎡)

受入可能品目

【産業廃棄物】

- 燃え殻 • 汚泥 • 廃プラスチック類 • 紙くず
 - 木くず • 繊維くず • 動植物性残さ • ゴムくず
 - 金属くず • 鋳さい • がれき類 • ばいじん
 - ガラスくず、コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず
 - 産業廃棄物を処分するために処理したもの(ばいじんを固化処理したものに限る)
- 以上14種類(石綿含有産業廃棄物を含む)
(自動車等破碎物を除く)

【特別管理産業廃棄物】

- 廃石綿等 以上1種類

中間処理施設(焼却)

焼却炉の種類・数

「ロータリーキルン炉+ストーカ炉」を2炉併設

処理能力

87.4t / 日 (43.7t / 日 × 2炉)

受入可能品目

【産業廃棄物】

- 汚泥 • 油 • 廃酸 • 廃アルカリ • 廃プラスチック類
 - 紙くず • 木くず • 繊維くず • 動植物性残さ • 金属くず
 - ガラスくず、コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず
- 以上11種類
(自動車等破碎物を含む、石綿含有産業廃棄物を除く)

【特別管理産業廃棄物】

- 廃油(燃焼しやすい廃油) • 廃酸(腐食性廃酸)
 - 廃アルカリ(腐食性廃アルカリ) • 感染性産業廃棄物
- 以上4種類

中間処理施設(破碎)

破碎機の種類

二軸破碎機、一軸破碎機 各一基設置

処理能力

二軸破碎機:170t / 日、一軸破碎機:100t / 日



E・フォレスト
OKAYAMA



私たちは地域の未来に、真剣です。

創業 昭和45年6月10日

株式会社 **西日本アチューマツクリーン**

本社 〒703-8245 岡山県岡山市中区藤原50-1
TEL (086) 272-8042 FAX (086) 271-1050

E・フォレスト岡山 〒709-2137 岡山県岡山市北区御津虎倉1886番地
TEL (086) 299-0211 FAX (086) 299-0250

東京支店 〒110-0014 東京都台東区北上野2丁目25-11 401号
TEL (03) 3526-2477 FAX (03) 3526-2466

倉敷営業所 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚5丁目17-58
TEL・FAX (086) 456-4433

箕島事業場 〒701-0206 岡山県岡山市南区箕島字小松露3678番
TEL・FAX (086) 292-4647

赤磐工場 〒701-2225 岡山県赤磐市山口2131-4
TEL (086) 957-4919 FAX (086) 957-4922

ISO 14001
認証取得



JQA-EM2324

本社
箕島事業場
赤磐工場

祝 新名称

一般社団法人
岡山県産業資源循環協会

産廃から
資源循環へ



Blue Evolution Grp.

原材料及び製品の輸出入、バイオマス関連事業
誰でも出来るSDGs 石けん1個から
"やさしい運転"
南九州経済圏 関西経済圏を
フェリーで結ぶモーダルシフト物流
車検・修理はお任せ

株式会社 Mt.ベアーズ
有限会社 ヒラマツ・プロダクト
株式会社 平松運輸
株式会社 霧島商事
総社自動車 有限会社